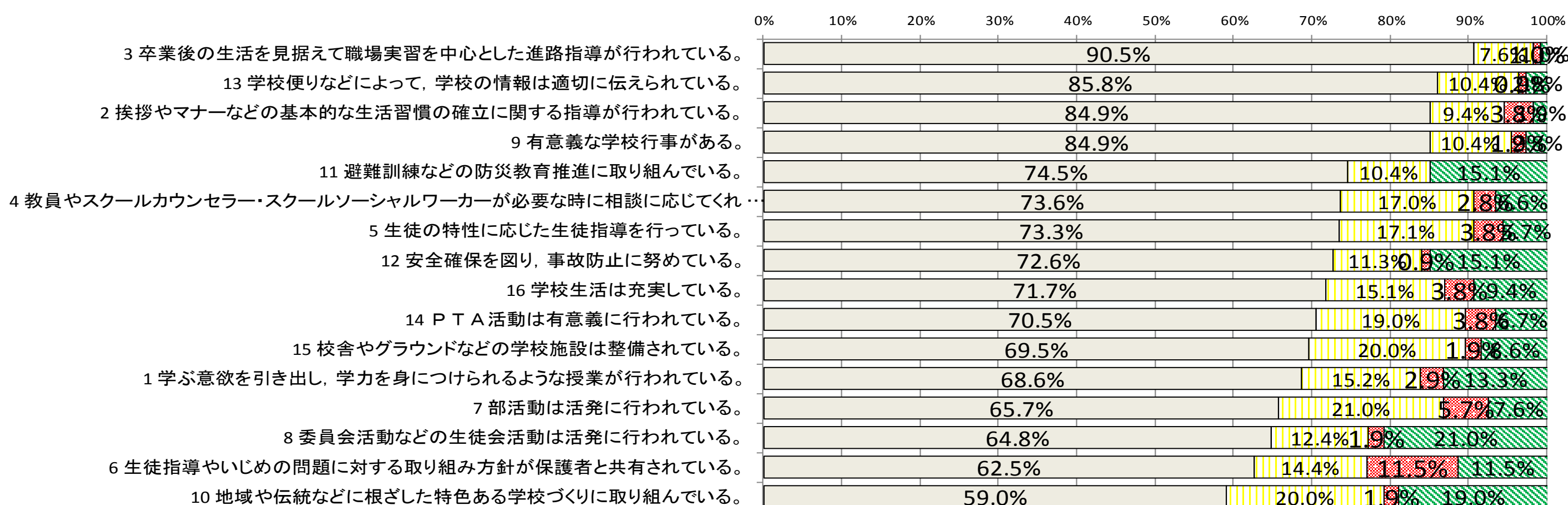


# 学校に関するアンケート

## 保護者(評価の高い順)

□ そう思う   □ どちらでもない   ■ 思わない   ■ わからない

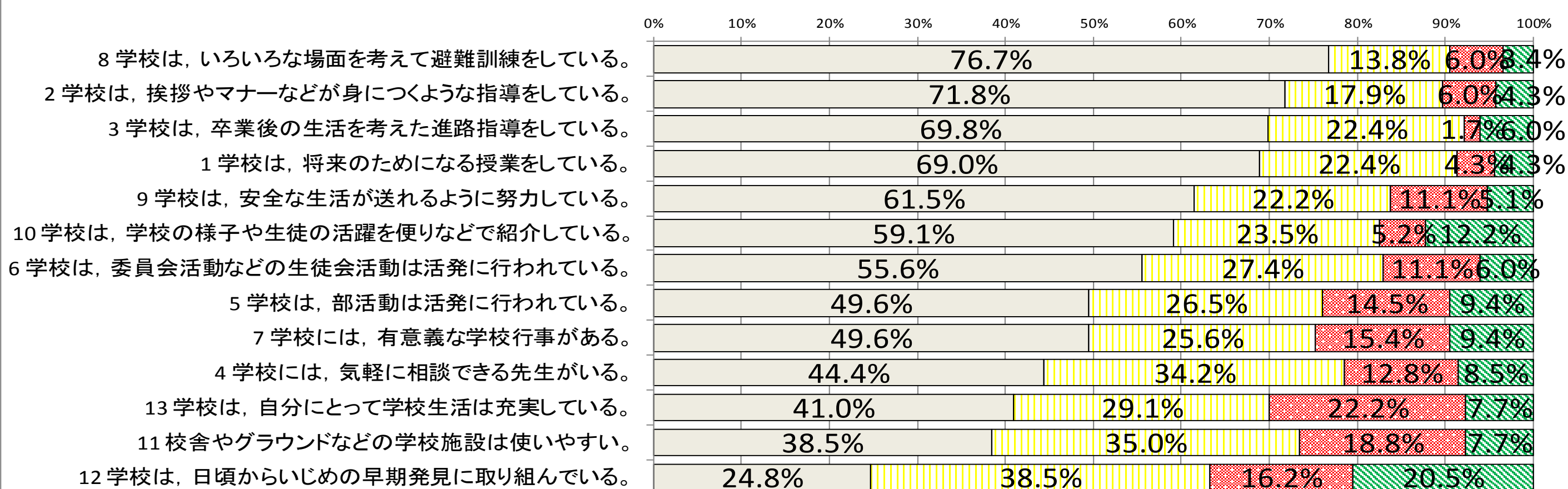


## アンケート結果の分析

- ① 16項目中10項目について70%の方が、4項目について65%の方が「そう思う」と評価していることから、学校全般にわたって本校の教育活動を好意的に見ていただいていると思われる。
- ② 今年度より追加した「6生徒指導やいじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている」については、個別対応の部分も多く、全体的な指導として見えにくい部分もあり、保護者の方との連携、情報提供に努めたい。
- ③ 本校の柱である職場実習を踏まえた進路指導や挨拶やマナーの指導について高い評価をいただいたことは大変ありがたい受け止め、今後の指導・支援に生かしていきたい。
- ④ 委員会活動や地域等に根ざした取組については「わからない」が20%と高い数字となっている。委員会活動や生徒会活動、寄宿舎が実施している地域ボランティア活動の様子等の情報発信をより積極的に行う必要がある。

## 生徒(評価の高い順)

□ そう思う   □ どちらでもない   ■ 思わない   ■ わからない



## アンケート結果の分析

- ① 上位項目の「挨拶やマナー」「将来に向けての学習」や「安全教育」等は本校の目指すべき生徒像につながるものであり、生徒が前向きに捉えている傾向とみることができる。しかし、「将来のためになる授業」については、「そう思う」が昨年度より約15%下がっている。学習の目的について、教職員からの伝え方の工夫や授業内容の見直し、改善を検討する必要があると思われる。
- ② 「気軽に相談できる先生がいる」について、4割強が「どちらでもない」「いない」と答えている。学年ごとに相談の機会を設けたり、校内の相談活動について機会あるごとに声掛けしたりカウンセラーの活用を促したりしているが、教職員が気軽に相談に乗れる信頼と資質を身に付ける努力を今後も継続していきたい。
- ③ 「学校生活は充実している」について、2割の生徒が「そう思わない」3割が「どちらでもない」「わからない」と感じていることを真摯に受け止め、教職員全体でさらに意識しながら学習活動や生徒指導に取り組む必要がある。
- ④ 今年度より追加した「12いじめの早期発見に取り組んでいる」については、個別対応の部分も多く、全体的な指導として見えにくい部分もあるが、意識して全体に向けた取組や指導を心掛ける必要がある。